

## 高田アジア（TCA）の紹介

### 1. 会社概要

名称：Takada Corporation Asia Ltd.  
 （高田アジア）  
 所在地：140 One Pacific Place Bldg., 16<sup>th</sup> Fl.,  
 Unit 1601-03, Sukhumvit Rd.,  
 Klongtoey District, Bangkok 10110  
 代表者：西村 明博  
 設立年月日：2012年12月25日  
 資本金：10,000千バーツ  
 事業内容：①海外グループ会社の事業活動支援  
 （運営支援、営業支援、技術支援）  
 ②TAKADA グループの海外戦略の  
 企画・推進

### 2. 沿革

2012年 「Thai Takada Co., Ltd.（タイ高田）」  
 （以下、TTC）設立  
 2015年 「Kikuchi Industries (Thailand) Co., Ltd.（菊  
 池タイ）」（以下、KIT）の株式を高田工業  
 所が取得  
 （KITのグループ会社化により、タイでの建  
 設・メンテナンス工事等の対応はKITに集  
 約）  
 2016年 TTCを地域統括会社化し、名称を「Takada  
 Corporation Asia Ltd.  
 （高田アジア）」（以下、TCA）に変更

### 3. 高田アジア（TCA）の具体的な取り組み

#### 3.1 TAKADA グループの海外事業

TAKADA グループでは1966年、インドのアンモニア・尿素プラント建設にスーパーバイザーを派遣したのを契機に、海外事業活動拠点として1971年にシンガポール、「Singapore Takada Industries Pte. Ltd.（シンガポール高田工業）」（以下、STK）、1982年にマレーシア、「Sri Takada Industries (Malaysia) Sdn. Bhd.（高田マレーシア）」（以下、TKM）、2012年にタイ、TTC（2016年にTCAに名称変更）を設立し海外事業を展開してきた。その後、2015年にKITの株式譲渡を経て現

在に至っている。

#### 3.2 高田アジア（TCA）の事業内容

2016年にはTAKADAグループの海外事業全体を統括する目的で、TTCの名称変更を行いTCAを設立した。TCAの主要事業は、現中期経営計画における海外事業の基本方針である「お客様の海外事業をサポートするグローバルパートナーとしての地位確立を目指し、積極的な経営資源の投入により海外事業を強化していく」を達成するために、種々の施策を展開することである。

具体的には、海外グループ会社の事業活動支援を行い各社の事業体質を更に強化するとともに、海外グループ会社間および高田工業所本体との連携を一層深め、シナジー効果を最大限高める活動を推進していく。TCAは拠点をタイのバンコクに置いており、同じタイに拠点を持つKITはもちろん、同じASEAN地域のSTKやTKMにも近い位置にありこのメリットを最大限活用し、TAKADAグループの海外事業の発展に貢献していく。

また、もう一つのTCAの重要な事業として現在TAKADAグループが拠点を有していない第三国での事業展開のための調査や戦略立案がある。現在、TAKADAグループではASEAN域内を中心として、更なる事業展開を視野に種々の調査・事業性評価を実施している。ベトナム・フィリピンあるいはミャンマーなどの発展・工業化はここ数年目ざましいものがある。TAKADAグループの技術力を活用してこれらの国の発展に貢献することはもちろん、これらの国に進出される国内のお客様の海外事業を確実にサポートさせて頂く体制を構築することでTAKADAグループの海外事業を発展させていく。

### 4. おわりに

TAKADAグループの海外事業の更なる発展・推進のための海外統括会社としてTCAが設立されて間もなく4年となる。当初は、TCA内部の体制整備や業務推進方法の検討等に多くの時間を割かざるを得なかった。しかし、現状では徐々に成果がある活動が展開出来ており、今後は一層加速させて業務に取り組んで行く所存である。TAKADAグループのお客様始めお取引先各社・各位のTCAに対してのご理解とご支援を賜りますようお願い致します。

高木 伸二（高田アジア）